

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（4月14日9時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (4月14日7時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,187 mm (4月13日7時から83 mm上昇)	O.P.+ 2,864 mm (4月13日7時から36 mm下降)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 2,828 mm (4月13日7時から27 mm上昇)	O.P.+ 3,158 mm (4月13日7時から69 mm上昇)	O.P.+ 2,844 mm (4月13日7時から41 mm下降)	O.P.+ 2,896 mm (4月13日7時から25 mm下降)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,159 mm (4月13日7時から12 mm下降)	O.P.+ 3,249 mm (4月13日7時から71 mm上昇)	O.P.+ 2,946 mm (4月13日7時から44 mm下降)	O.P.+ 2,925 mm (4月13日7時から10 mm下降)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 4,363 mm (初期値からの増加量5,580 mm, 4月13日7時から33 mm上昇) O.P.+ 2,303 mm (初期値からの増加量3,029 mm, 4月13日7時から9 mm下降) O.P.+ 4,413 mm (床面からの水位617 mm, 4月13日7時から82 mm下降)		
滞留水の移送状況		1号機	2号機	3号機	4号機
				3号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼 却炉建屋) 移送実施中 (3月12日15時48分~)	
		5・6号機			
水処理設備の運転状況	セシウム吸着装置 : 3月14日9時04分 ~ 停止中 第二セシウム吸着装置(サリー) : 4月9日14時00分 ~ 運転中 淡水化装置(逆浸透膜) : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置(蒸発濃縮) : 水バランスをみて断続運転				
その他特記事項	・4月13日13時57分~17時37分、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋へ滞留水の移送を実施。 ・4月10日頃から適宜サイトバンカ建屋からプロセス主建屋への移送を行うなか、サイトバンカ建屋内の水位上昇およびプロセス主建屋の水位低下(本来とは逆の水位変動)が確認された。これを受け、4月12日より現場調査を行っていたところ、集中廃棄物処理施設4カ所(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、サイトバンカ建屋、焼却工作建屋)のうち、3カ所間において、通常使用していない滞留水移送ラインに設置してある仮設ポンプ(4台)が運転中であることがわかった。このため、4月13日17時2分から17時22分にかけて、仮設ポンプ4台を停止し、滞留水の移送を停止。また、仮設ポンプ停止前後に各移送ラインを確認し、漏えい等の異常がないことを確認。				

・水位についてはデータとして速やかに提供させていただき観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。